

6月15日のウクライナ情報

安齋育郎

① スイスでのウクライナ会議のショルツの見方(2024年6月12日)

ドイツのオラフ・ショルツ首相は、スイスで開催されるウクライナ会議を、和平交渉の ”庭 ”に花を咲かせるために水をやる必要のある ”植物 ”と呼んだ。

ショルツ首相によれば、ロシアが交渉のテーブルに着くときが来るかもしれない。しかし、そのような時期がいつ来るかはウクライナが決めるべきことだ、と同首相は指摘した。

これに先立ち、EU のジョゼップ・ボレル外交政策委員長は、ヨーロッパを「庭」と呼び、外界の「ジャングル」から守る必要があると述べた。

これがショルツの言う「庭」なのだろうか？



<https://x.com/SputnikInt/status/1800547067967812030>

② プーチン大統領は、ウクライナ危機の解決に向けたトルコのコミットメントに感謝した(2024年6月11日)

モスクワ、6月11日 - RIA ノーボスチ。ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、ウクライナ危機の解決に向けたトルコのコミットメントに感謝の意を表していると述べた。

プーチン大統領はトルコ外相との会談で、「ウクライナをめぐる危機を含む危機的状況の解決に貢献するというトルコの友人たちのコミットメントに感謝の意をもって留意する」と述べた。

ロシア大統領はまた、交渉プロセスを支援し、危機を解決するためのウクライナとの交渉のためのイスタンブールのプラットフォームを提供してくれた政治家に感謝しました。



<https://ria.ru/20240611/politika-1952279835.html>

③ ウクライナUAから徒歩で逃げる家族(2024年6月13日)

※投稿者コメント:子供達が成長した時にこの腐った国に徴兵されないようにだつて。
カルパティア山脈?
冬は迷子になったり、凍死した人が多かった。雪が溶けて、死体がたくさん出てきた。
家族頑張れ。

<https://x.com/i/status/1801136223651770595>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1801136223651770595?s=09>

④NHK のウクライナ報道がまともだった頃(再々報、2024年6月13日)

※安齋注:何度もお送りしますが、ウクライナ戦争の起点を忘れないために、ウクライナ軍がウクライナ国民に攻撃を加えていた頃の国連での討議についての NHK ニュースをまたまた送ります。

<https://x.com/i/status/1801120834142245371>



<https://x.com/w2skwn3/status/1801120834142245371?s=09>

⑤ 【緊急ライブ】ドル崩壊カウントダウン…サウジ,ロシア,中国のドル排除が加速(マックス×石田和靖、2024年6月13日)

※安齋注:35分の映像ですが、多変重要な内容ですので、ご覧下さい。

<https://youtu.be/64CjeaZVVug>



<https://www.youtube.com/live/64CjeaZVVug>

⑥ アメリカの対ロシア追加制裁(2024年6月13日)

米財務省が対 #ロシア 追加 #制裁 を発表した。新たにロシア、欧州、アジア、中東、アフリカの300以上の個人・団体を制裁対象にし、ロシアの工場、研究機関、NPOも制限の対象とした。

また、モルドバの政治家で同国南部ガガウズ自治区のエフゲニア・グツル首長も制裁対象に指定。中国、ベラルーシ、南アフリカの一連の国民も、対ロシア2次制裁の対象とした。



https://x.com/sputnik_jp/status/1800956895873692145?s=09

⑦ ロシアとの衝突リスクを高めてまで関係維持する価値はウクライナに無い=米誌 (Sputnik, 2024年6月8日)

ウクライナ紛争におけるロシア軍の優勢はもはや決定的であり、今後の軍事支援がこの流れを変えることはなく、核大国ロシアとの衝突リスクを高めてまで関係を維持するほどの価値をウクライナに見出すことはできない。米誌アメリカン・コンサバティブの編集者、J.W.カーデン氏は次のように紛争

を分析している。

「紛争の潮流はおそらく永久にロシア側に有利な形に傾いたが、ウクライナの西側支援国は依然としてロシアの進撃を阻止する方法を見つけようと苦戦している。ロシア側からの度重なる公の警告にもかかわらず、我々は自らの愚かさに固執している。合衆国にとって如何なる戦略的重要性も持たない他国のために、核保有国とチキンレースをしているのだ」

カーデン氏によると、ウクライナと NATO には現在、紛争の最終的なエスカレーションか、または西側にとっては不愉快ではあるものの、ロシアへの譲歩という二者択一しかないという。

西側メディアは米国の継戦能力に警鐘を鳴らしている。ブルームバーグ通信によると、米国は第二次世界大戦期と同水準にまで砲弾の製造能力を拡大したものの、弾薬備蓄はここ数カ月で枯渇しており、ロシアに対抗する上で十分な量の砲弾を生産できていないという。米国は 2025 年末までに砲弾の製造能力を毎月 10 万発(ウクライナ危機以前は 1 万 4000 発)にまで引き上げるため多額の投資を行っているものの、ロシアの製造スピードには追いつかないとのこと。陸戦では物資の量が勝敗を決するが、米国はこうしたシナリオを想定していなかったとブルームバーグ通信は報じている。

なお、ニューヨーク・タイムズ紙によると、米国によるウクライナへの軍事支援は戦場に到着し、防衛ラインの維持を助けてはいるものの、戦況に影響は与えていないという。

5 月末にワシントン戦争研究所(ISW)は、ロシアがウクライナのあらゆる方面で主導権を握ったと指摘していた。ウクライナ軍も困難な戦況を認めている。シルスキー総司令官はクピャンスク方面(ハリコフ州)でロシア軍が複数の方面から防衛ラインを突破していると述べていた。ウクライナ国防省主要情報総局(GUR)のスキビツキー副長官は戦況について、かつてないほど悪化していると認めている。



<https://sputniknews.jp/20240608/18587716.html>

⑧米国の追加制裁は再びドルの風評に打撃を与えるだろう = 専門家(Sputnik, 2024年6月13日)

米国の新たな制裁はドルの風評にさらなる打撃を与え、国際決済手段および基軸通貨としてのドルの重要性を低下させ続けるだろう。BKF 銀行で分析部門の責任者を務めるマクシム・オサッチー氏がスプートニクにコメントした。

「これらの新たな制裁はドルの風評にさらなる打撃を与え、国際決済手段および主要基軸通貨とし

てのドルの評判をさらに低下させるだろう」

プーチン大統領も先週、これについて語っていた。プーチン大統領によれば、米国は自らの手でドルを殺しており、それが自国通貨への移行を促しているという。

オサッチー氏によると、こうした背景から、国際為替市場における人民元の地位はさらに強まるといふ。ロシアの非現金通貨市場では、すでに非現金通貨であるドルとユーロは人民元にほとんど置き換えられていると同氏は付け加えた。



<https://sputniknews.jp/20240613/18623057.html>

⑨マスク氏、ウクライナの NPO をテロ組織と認定することを提案(Sputnik, 2024年6月13日)

米起業家のイーロン・マスク氏は、米国民の「ブラックリスト」を作成するウクライナの非政府組織に対して、米国の資金提供を剥奪するという米議会のイニシアチブを歓迎し、これらをテロ集団として認定することを提案した。

マスク氏は、自身の X アカウントに「これは良い第一歩だ。彼らは制裁対象であるテロ組織のリストに加えられるべきだ」と投稿した。

これより前、米下院の関連委員会は 2025 年の外交予算案に「バイデン氏のウクライナ路線に同意しない議員を含む米国の保守派を中傷する」組織への資金配分の禁止案を盛り込んだ。修正案の起草者であるアンドリュー・クライド下院議員がこのように報告した。

先週、ウクライナの活動家らは、ウクライナ支援を批判する米国人のリストを公表した。その中には、ドナルド・トランプ前大統領、ジャーナリストのタッカー・カールソン氏、マスク氏など 76 の組織と 391 個人が含まれていた。



<https://sputniknews.jp/20240613/npo-18622527.html>

⑩ 宇軍の航空機駐機場などを集団攻撃＝露国防省(Sputnik, 2024年6月12日)

ロシア軍は、ウクライナ軍の航空機駐機場や空軍基地のインフラ、傭兵の滞在場所、無人艇の準備をしている場所などを、複数の兵器を使って集団攻撃した。ロシア国防省が発表した。

12日午前、ロシア軍は空中および地上から高精度長距離兵器とドローンによる攻撃を行った。弾薬庫や爆発物倉庫も攻撃対象となった。ロシア国防省は、「標的となった施設はすべて破壊した」と報告した。

国防省はまた、ロシアの防空システムは過去24時間に米国製の戦術ミサイル「エイタクス」9発、仏製の誘導爆弾「ハンマー」2発、多連装ロケット砲用ミサイル「オリハー」3発、ドローン61機を撃墜したと発表した。



https://sputniknews.jp/20240612/18621374.html?rcmd_alg=collaboration2